※令和４年度以降入学生用

学校番号	1004

令和５年度　総合科

教科	総合	科目	リーディングスキル応用	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	論理エンジン「論理の習得」OS2　　（水王舎出版）						
副教材等	論理エンジン「誌上講義」OS1＋OS2　（水王舎出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

リーディングスキル応用は、１年次の基礎を土台とし、応用的な読解力をつけるための授業です。
論理エンジンを通して、文の構造を理解し、素早く文章を読み取ることを目標とします。
またペアワーク・グループワークの言語活動を通して、集団に寄与する姿勢を育みます。

２　学習の到達目標

「考え抜く力」の向上をはかるため、日本語読解、運用能力（文と文、語句との間の論理的関係　及び指示語、接続後の論理的関係）を身につけるとともに、様々な取り組みを通して、
(1)　「協働する力：意見の異なる他者と議論する力」
(2)　「創造する力：自分の考えを文章と図式にまとめる力」
(3)　「踏み出す力:未知の文章、図を読み取る」の３つの力の向上をはかる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	主語・述語を捉え、文章の場面を読み取ることができる。 文の構造を理解する。 日常生活で見られる表やグラフ、資料などを正確に読み取ることができる。	問題に対し自身で考えた仮説を思考し、解決に導くことができる。 自分で考えた仮説を相手に説明することができる。	問題に対し、解決へ向けて粘り強く取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	指示語と 指示内容・ 文と文の つながり	指示語の距離 指示内容の範囲・指示内容の場所 文と文のつながりイコールの関係・対立関係 接続語をつかまえる	a:正しい知識を身につけたか b:主語と述語を捉えられるか c:文を要約できるか	提出課題	ペアワーク グループワーク	行動の観察 振り返り
	要点をつかまえる・話題と主張	要点を抜き出す 問題提起とその答え 字数を調整する 話題をつかむ 話題と筆者の主張	a:正しい知識を身につけたか b:文を図式化できたか c:助詞を理解し、 文を理解できたか	提出課題 定期考査	ペアワーク グループワーク 定期考査	行動の観察 振り返り
2	イコールの関係 具体と抽象	定義づけ 具体と一般 比喩	a:単文と重文を見分けられるか b:文の要約ができるか c:指示語が表す語を理解しているか	提出課題	ペアワーク グループワーク	行動の観察 振り返り
	小説・物語の文章・作文の基本	こころの中の表現 動作と心情・擬情語と心情 セリフから心情をさぐる 書く内容の整理・作文のルール 正しい文章を書く	a:具体的な言葉と抽象的な言葉を使い分けているか b:助詞の識別ができているか c:助動詞の働きを理解しているか	提出課題 定期考査	ペアワーク グループワーク 定期考査	行動の観察 振り返り
3	作文 総復習	書く内容の整理・作文のルール 正しい文章を書く	a:文章の構造図を書くことができる b:主語と述語の関係を理解している c:重複表現を理解している	提出課題 定期考査	ペアワーク グループワーク 定期考査	行動の観察 振り返り
	指示語	指示語 総まとめ	a:指示語を理解している b:指示語を理解し、文章の場面を理解している c:既習事項を理解している	提出課題 定期考査	ペアワーク グループワーク 定期考査	行動の観察 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度